



36カ国、1000名超の海外研修生を受入れ。“日吉ファミリー”が大きな財産

株式会社日吉は、環境試料や食品の分析測定、上下水道等の維持管理、廃棄物収集運搬、道路維持管理や工業薬品販売等の環境総合サービスを提供しています。

「環境問題に国境はない」との考えのもと、1990年代から海外研修生の受入れ・育成に取り組み、その豊富なネットワークをビジネスにも活かしています。

海外新規事業企画室の松井様、総務部の大角様、黄様にお話を伺いました。（2020年9月）

－ 30年も前に、海外からの研修生の受入れを始められたそうですね？

1989年から、ほぼ毎年のように、AOTSやJICA、JETRO等、様々な団体の研究生を受け入れてきました。前会長が「今後、海外でも経済発展とともに環境問題が起きる。対策が必要だ」と考え、インドや中国、ベトナムなど世界各地の研修生に日本や当社の環境技術や意識を教えようと、社会貢献の観点から始めたのです。2004年からは国際インターンシップ生も受け入れ始めました。



海外研修生の皆さんと一緒に

そのうち、当社の日本のお客様も海外に出て行く状況になり、我々も海外にとなったとき、**これまで受け入れてきた研修生のつながり（“日吉ファミリー”）という大きな強みに気付いた**のです。ちょうど研修生たちからも「自国には、日吉で学んだ技術を活かせる場所がない」という切実な声が上がっていました。その声にも応え、2011年、インドに子会社を設立しました。

－ 社員としても外国人を雇用されているそうですね？

現在、**外国人社員6名と帰化した社員2名**が在籍しています。

研修生の受入れや産学連携で培った人脈のおかげで、採用の窓口は、AOTSやJETRO、JICA、滋賀県等の行政や独自に開拓した大学等、いろいろあります。インターンシップからの雇用や、新卒公募に外国人がエントリーしてくることもありますよ。



インド法人で働く皆さん

－ 採用や配属はどのように？

人事考課は日本人と同じです。台湾からの留学生だった黄は、現在、インド法人の役員も務めていますが、**日本人・外国人の区別なく登用**した結果です。

仕事としては、環境課題対応を直接経験できる現場作業に従事してもらうケースと、黄のように高度人材としてキャリアを積んでもらうケースがあります。今後、**外国人が求めるキャリアパスも整備していきたい**と考えています。

ー 多言語マニュアルを作成されていると伺いました。



海外研修生に日本の生活文化を多言語マニュアルで説明

インターンシップ生を多数受入れる中で困った経験から、**生活面・業務面の2つのマニュアルを英語・中国語・ヒンディー語・ベトナム語等で作成しました。**生活には宗教も関わってきますし、トイレの使い方から違います。日本の生活様式や文化を伝えたいという思いで始め、業務における技術的なマニュアルも作りました。今も改良を重ねているところです。

ー [元留学生の黄氏に] ご自身の経験も踏まえて、外国人社員を採用する会社にごどのようなことを望みますか？

[黄氏] **外国人材は、専門分野等の個人スキルとキャリアアップを重視します。従事させたい業務内容が人材の専門分野とマッチするか、求めたい役割は何か、**



黄さんの人柄が出る和やかな社内協議

どのようなキャリアパスを提供できるかを明確にし、外国人材にも伝えることが重要です。

また、**外国人との共生についての理解**も大切だと思います。共生には、**言語の問題、生活習慣の問題、コミュニケーションの問題**があります。もちろん外国人側も“郷に入っては郷に従う能力”が必要ですが、もともとの生活習慣はなかなか変えられません。やはり会社側にも理解していただきたいですね。

[大角氏より] 日本人と同じで、外国人にも個性があります。問題が生じたときは、コミュニケーションをとるしかありません。当社も、誠意を持って外国人社員の話に耳を傾け、お互いが譲歩して、新たなものを築いていっている状況です。

[松井氏より] いろいろな国に行くと、日本が特異だと感じることも多い。受け入れる側として、当社社員の意識のグローバル化も課題だと思います。



インド人研修生に分析指導するベトナム人社員

株式会社日吉
住所：滋賀県近江八幡市北之庄町908
代表者：代表取締役会長 西野桂子
代表取締役社長 村田弘司
創業：1955年、設立：1958年
業種：環境総合サービス業
資本金：2,000万円
従業員数：325名（うち高度外国人材6名）
インド法人：**Hiyoshi India Ecological Services Private Limited**
アメリカ法人：**Xenobiotic Detection Systems International, Inc.**
HP: <https://www.hiyoshi-es.co.jp/>

担当者からの一言

日吉さんは、中国や東南アジアへのビジネス展開を積極的に進めておられ、当局が支援しているTeam E-Kansaiの中核企業としても活躍されています。長い時間をかけて築かれた世界に広がる人脈は、まさに事業発展の基盤ですね。